

Artfull うちうら

【発行】
内浦公民館
〒919-2351
高浜町山中 104-4-2
TEL.0770-76-2007
FAX.0770-76-2008
E-mail
uchiura_c.c@town.takahama.lg.jp

内浦公民館講座



交通安全教室（全 2 回）



令和6年6月4日（火）

内浦公民館 2 階多目的ホールで「交通安全教室」を開催しました。講師は高浜町交通安全推進員の山本智子さんと、清水妙子さんです。福井県は信号機の無い横断歩道で、一旦停止をする車両の割合が全国ワースト 3 位。歩行者が横断歩道を渡る時は手を挙げてドライバーの方を見ると車両に止まってもらいやすいという調査結果を教わりました。渡りたいというアピールも必要ですね。（*^^*）

からだを整える季節の雑穀料理「夏・ハトムギ」



ハトムギスイーツとハトムギサラダ



令和 6 年 6 月 23 日（日）

内浦公民館 2 階調理実習室で「からだを整える季節の雑穀料理 夏・ハトムギ」を開催しました。講師はマクロビオティック食事アドバイザーの山崎慶子さんです。ハトムギは「いば取り」とも言われている事、肌荒れや肌の老化防止の成分がある事も教わりました。お米と同じように鍋でコトコト炊いたハトムギを、人参と豆ときゅうりに混ぜ合わせ手作りドレッシングで和えると食感も楽しく美味しいサラダが出来ました。ハトムギで簡単にスイーツが出来る事も新しい発見でした。

● 開館時間 午前8時30分～午後10時 ● 利用時間 午前9時～午後9時30分 夜間利用が無い場合は午後5時で閉館いたします。

<8 月の休館日> 5 日（月）・12 日（月）・18 日（日）・19 日（月）・26 日（月）

内浦小中学校 体育大会

大会テーマ「KIZUNA」は無敵の力～紅白魂で勝利せよ



今年のデザイン
Tシャツも素敵



令和6年6月8日(土)

内浦小中学校体育大会が行われました。5年ぶりに校区の皆さんも参加して競技を楽しみました。赤組・白組共に一致団結して応援している姿!まさに「KIZUNA」を感じました(*^^*)

音海区 体育祭



紅組、白組どちらも
カゴにたくさん入っていますね。

【赤ふん坊やの福笑い】見本
のように、いい顔になりました

令和6年6月23日(日)

旧音海小中学校体育館で区民体育祭が行われました。5年ぶりの開催で、多くの皆さんが参加され、楽しい声が体育館に響きました。午後からは親睦会でも楽しめました。

<音海区長 牧野さんに写真を提供していただきました(*^^*)>

特別写真展

「誰にも教えたくなかった内浦」

開催中



内浦公民館 1階ホールで
写真展を開催しています。
8月10日(土)まで展示
していますので、ぜひご覧
ください。



館長の《こーひーぶれいく》No.111



今回は 門井慶喜 著「ゆうびんの父」です。

福井新聞など11紙で連載された「ゆうびんの父」通して読んでみました。郵便制度の祖と呼ばれ、現在では一円切手の肖像にもなっている前島密。幕末から明治にかけて日本の近代化に大きく貢献した人物として知られていますが、幕臣でも薩長土肥藩士でもなかった農村出身の彼がどのようにして大きな仕事を成しえたのでしょうか。

上野房五郎（前島密）は天保6年に越後国頸城郡下池部村（現・新潟県上越市下池部）に生まれます。母・ていは三百石取りの高田藩士・伊藤家の子女で、父・助右衛門は豪農の跡取りでしたが、房五郎が生まれた半年後に病死し、4年後ていは房次郎を連れ、高田郊外の小さな民家を借り、母ひとり、子ひとりの生活を始めます。ていは裁縫などの仕事で生業をたて、少ない収入から錦絵や往来物（当時の初等教科書）を購入し、房五郎を厳しく教育します。

この教育こそが房五郎の人生を切り拓きます。少年期からは自らの足で日本中を旅しながら見聞を広め、学びへの貪欲な欲求をもって江戸に出て医学、蘭学、英語、函館で航海術、測量航海造船等々、通算で何十人にもおよぶ”師”の元で学んでいきます。長崎で宣教師のチャニング・ウィリアムズ（立教大学創始者）に英学を学び、瓜生寅と私塾を開き、薩摩では洋学校で蘭学を教えたりし、その生徒たちは後に明治政府の要人となっていきます。師匠も学問も転々と変えますが、不思議と周囲から愛された房五郎は、幕末になる頃には一定の地位を得ていくのです。

大政奉還となり、遠江国の奉行となっていた房五郎のもとに勝麟太郎が来て、新政府への出仕を薦めます。密（房五郎）が配属となった新政府の民部省改正掛（かいせいかかり）には大隈重信をはじめ伊藤博文、井上薫、山口尚芳、五代友厚、渋沢栄一らの面々がいました。改正掛の仕事は、租税の問題、外交問題、治安問題等、夫々が意見を持ち寄り、大隈への助言機関のようなものでした。3か月後、密は大隅に呼び出され、伊藤と大隅に全権委任されている鉄道事業の東京から神戸までの見込書の作成を頼まれます。密はこれを半月で仕上げます。建設費・開業後の収支・資本調達の見積書（鉄道憶測）でした。

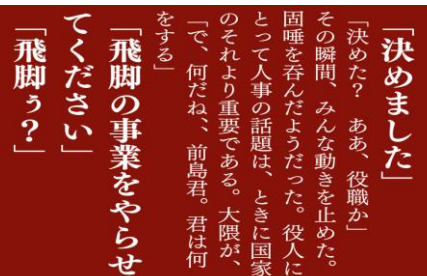
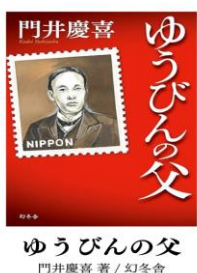
そのお礼にと大隅は「好きな役職を与えよう。存分に腕をふるうがいい。」言われ、「外交」と即答しますが、大隅は「日の当たる役職は薩長が占めている。君は二番手だ。」と諭されます。

密は大隅に「飛脚の事業をやらせてください」と申し出ます。密が5歳の時母に頼まれ、叔父の家まで雪のなか12・3里歩いて届けた思い出がよみがえり、金の無心だと知って衝撃をうけ、手紙には母子の生活の存否がかかっており、当時の飛脚が信用出来なかったのです。

明治4年3月、日本で初めての手紙の配達が東京から大阪まで宿駅を設け宿駅毎に飛脚を配し、600キロを78時間かけて届けられるのです。それから2年後には全国の津々浦々に3200局もの三等郵便局（特定郵便局）を設け制度を普及させていきます。

それを受けてくれたのは、密が若い頃、全国を旅したとき、知識や情報と引き換えに、無償で寝食を提供してくれた各地の庄屋・名主・村長などの田舎の知識人だったのです。

この後、密は次々に新事業を起こしていきます。郵便為替・郵便貯金の開始、郵便報知新聞（後の報知新聞）を創刊、郵便事業に反対していた旧飛脚雇用のための陸運元会社（日本通運の前身）、東京専門学校（後の早稲田大学）創設への参画、視覚障害者教育の訓盲院（後の筑波大付属視覚特別支援学校）の設立など、産業、教育の新興に大きな功績を残すのです。



この小説は密の足跡をたどる、幕末から明治への歴史小説でもあります。母と子の絆と情愛の物語でもあります。ちなみに、瓜生寅との交流も描かれますが、彼は福井藩士で、後に大阪理学校（京都大学の前身）長や初代神戸税関長等を歴任し教育・産業界に貢献した人物です。ぜひ一読をどうぞ。

身近な生活環境講座～暮らしを支える水のしくみを知ろう～



令和6年6月26日(水)

内浦公民館1階会議室で、高浜町上下水道課職員より各家庭に水が届く仕組みを詳しく教えていただきました。その後、安全できれいな水が作られる【膜ろ過方式】の簡易水道施設を見学し、次に排水処理施設を見学しました。排水処理施設では、汚れた水が透明な水になる過程を見る事が出来ました。生活に欠かせない水の話と貴重な見学が出来た事を皆さん喜んでおられました。

これからの公民館講座のお知らせ

★詳しくは、チラシをご覧になりお申込みください！



令和6年8月1日(木)に習字教室を開催します。
みんなで一緒に夏休みの課題にとりくみましょう(*^^*)
*学年によって開始時間が違いますのでチラシでご確認下さい。



アウトドアでリラックスしませんか



令和6年8月10日(土)にDIY講座を開催します。
コーヒーを飲みながらゆったりと時間が過ごせるように、自宅やキャンプ場等で使える折り畳み式の木のイスを作ります。
定員は7名(先着順です)
*別の日にテーブルを作る事も計画中です。

舞鶴高専とコラボによる講座を計画中

令和6年8月7日(水) 夏休みこども実験教室 【会場】 高浜町文化会館
令和6年8月21日(水) お絵描きプログラミング 【会場】 内浦公民館
<時間など詳しい内容については、後日お知らせします。>



■ 元気あっぷ生き活き倶楽部

【次の開催日】7月16日(火)13:30~15:00 【会場】 内浦公民館2階 多目的ホール

■ らくらく運動教室

【次の開催日】7月23日(火)13:30~14:30 【会場】 日引ふれあい広場

*どちらも予約は必要ありませんので、初めての方も気軽にお越しください。